

週報 第3308回

会 長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹 事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org

Izumiotsu Rotary Club

泉大津ロータリークラブ



今週の例会 (2025年9月26日) 第3308回

■ プログラム

卓話担当 簀野 信 会員
「女性天皇と女系天皇」

■ 次週のプログラム

10月3日: クラブフォーラム
今井 克範 社会奉仕部門担当理事

■ 今後の予定

・10月10日: 定款の規定により休会

■ 祝 誕生日

西田 佳郎(26日)
小野寺 巧(29日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

赤とんぼ

夕焼小焼の	赤とんぼ
おわれて見たのは	いつの日か
夕焼小焼の	赤とんぼ
とまっているよ	竿の先

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

千 玄室(裏千家今日庵第15代家元)儀
予て病氣療養中のところ令和7年8月14日午前0時
42分102才で急逝いたしました。

『ロータリーの友』誌2022年9月号掲載より抜粋
「過去と向き合い、その教訓を未来に伝えることは、
今生きている者の責任である」
裏千家の伝統とロータリーの価値観
「ロータリーは私の人生の中で大きな部分を占めてい
ます」と目を輝かせます。「1954年、31歳の時に父から
ロータリーを紹介されました。ロータリーの価値観は、
裏千家茶道の『和敬清寂:お茶を点(た)てる主人と、

そのお茶をいただく客が互いの心を和(やわ)らげて、敬い合い、精神だけでなく茶道具や茶室、露地を清浄な状態に保つことで澄み切ったこだわりのない境地に達することができる」という意味。』にぴったりでした。ですから、父からロータリーの理念について話を聞いた時、私はすでに会員になることを考えていました。それから間もなくして、京都南RCに創立会員として入会しました。『ロータリーは単に楽しいだけの場ではなく、自己啓発、学習、そして地域社会に奉仕する場ではない』と先輩方がおっしゃっていたのを覚えています。この言葉が今でも私の耳に残っていて、奉仕に人生を捧げ、未知の世界に足を踏み入れ、困難に立ち向かう原動力になっています」

「ホテルオークラ京都にて」

時折、千氏は、自分が参加したロータリーの活動を思い出しながら、その思い出をかみしめているように見えました。まるで宝箱のふたを開けるかのように、しっかりと口調で思い出を語ります。

京都に新しいクラブ、京都南RC創立

「1954年、私は京都に新しいクラブ、京都南RCを創立する手助けをしました。ロータリーを発展させるには、地域社会のために行動を起こさなければならないことに気付きました。また、私たちの功績が地域社会に認められる必要がありました。これは非常に重要なことでした。京都南RCが創立されたのは、日本が右肩上がりの高度経済成長期に入ったばかりの時期でした。経済発展の勢いは、私たちの街をも脅かす勢いでした。多くの歴史的建造物や文化財が取り壊され、環境にも深刻な影響が及んでいました」

千氏と仲間のロータリアンたちは、メディアを通じて一般の人々や企業に、史跡や環境保全の重要性を呼びかけました。また、クラブはシンポジウムを開催し、政治家、企業、市民リーダーを招いて政策について話し合いました。その結果、京都の歴史的価値を落とすような可能性のある建設プロジェクトを中止させたりすることができたのです。「私たちは地域社会の強力な代弁者となり、京都南RCはすぐに人々から信頼と支持を得ることができました」と千氏は言います。

1964年、父の死去に伴い、千氏は裏千家15代として家元を継承し、時を同じくして京都RCに移籍しまし

た。公私共に多忙を極める中、ロータリー活動に精力的に取り組み、京都RC会長にも選出されました。「関西でロータリーの影響力を拡大することができました」と振り返ります。「例会では、日本や世界で困っている人々を支援するために資金を集めました。また、外国のクラブと文化交流プログラムや共同プロジェクトを実施しました。同時に、日本の若者と一緒に世界各国を訪れ、政府高官や王族、市民団体のリーダーたちと面会しました。どこに行っても、たとえそこにロータリークラブがあってもなくても、私たちは常にロータリーの哲学を広め、平和と調和というメッセージを伝えてきました」

こうした活動により、千氏はロータリーの中で世界的に広く知られるようになりました。1988-90年度RI理事を、1998-2002年までロータリー財団管理委員を務めた後、04年に大阪で開催されたRI国際大会の委員長を務めました。国際大会には、世界中から4万5,000人以上が集まり、登録者数の最多記録を更新しました。

失われたものに敬意を払う人生

千氏の平和構築の使命は、第二次世界大戦での体験から生まれました。1943年、同志社大学2年生だった千氏は、日本海軍の航空隊に徴兵されました。1年後の1944年10月、日本の戦況が悪化し、海軍は特別攻撃隊の編成を開始しました。

千氏は約200人の仲間と共に、爆薬を積んだ飛行機で敵艦を沈める特攻隊の訓練に参加しました。千氏は、先祖の千利休が切腹を命じられたように、自分もやがて悲惨な運命をたどると感じていました。

突撃の日、死を覚悟していた千氏は、突然、上官から待機命令が出されました。「行かせてください」と何度も訴えましたが、上官からは「待機命令だ」と命じられ、西日本の部隊に配属されました。戦後、元上官に会い、「なぜ出撃させてくれなかったのですか」と聞くと、「運命だと思え」と言われました。これが、今、千氏が背負っている運命の業なのです。

「生き残ったということは、大変なことでした。仲間も友人も亡くなり、妻も1999年に亡くなり、私は一人になってしまいました。そのため、仲間や生きるべき人たちの時間を受け継いだような、言いようのない気持ちになることがよくあるのです。彼らは、自分の命を私に

託したのだと思っています。彼らのためにも、私は忍耐強く、よく生き、長生きして、自分の運命を全うしなければならぬのです」と千氏は言います。

千氏は頭を傾けて目を閉じます。ユーモラスな表情から一転、喪失感と老いの孤独に包まれます。

しばしの静寂の後、千氏は笑顔で両手を広げ、雲が晴れたように意気揚々と続けます。「喪失感があるからこそ、ロータリーが私の家族だと思えるのです。孤独から解放され、大切にされていることを実感します。ロータリーの活動に参加し、ロータリーの若い会員と会うたびに、まるで家で子どもと一緒にいるような、特別な親しみを感じます。私を若返らせ、愛情と活力を与えてくれるロータリーと茶道には感謝しています」

師匠とお茶を頂く

長寿の秘訣(ひけつ)は、たばこも酒もしないことだと言います。若い頃は武道(柔道)をたしなみ、馬術も長年練習してきました。1967年、馬術日本代表チームの控え選手に選ばれ、日本馬術連盟の会長も長く務めています。2008年には、北京オリンピックに馬術競技の日本代表選手と同行もしています。

裏千家のお茶の点て方を披露しながら、「お茶を頂くと心が落ち着くのです。心が静まれば、本を読み、知識を深め、集中力を高めることができます」と千氏は言います。

お茶を頂くと、千氏は「いかがですか」と聞きます。濃い抹茶に濃厚な泡が立ち、あでやかな味わいです。渋みの中に甘みがある。一口頂くごとに季節の香りが広がり、新しい感動があります。ぜいたくで上品な味わいです。

話は、ロシアのウクライナ侵攻に移ります。会長エレクト研修セミナーの講師として招聘(しょうへい)された千氏は、京都のホテルで、約200人の次代を担うロータリー会員を前に、日本のクラブや地区が行っている人道支援活動について講演しました。「私の若い頃の悲劇が繰り返されています」と千氏は嘆きます。「国際社会の非難をよそに、ロシアの政治指導者はウクライナに対していわれの無い戦争を仕掛けています。このような困難な時期に、ロータリーは何ができるのか、何をすべきなのか、私はいつも考えています。世界規模の戦争を防ぐために、何かしなければならないのです」

千氏はしばらく考え込み、まるで世界を戦争から守る盾を持つかのように、茶道具を掲げました。未来の平和を守るために何ができるのか、その問いはいつも胸に重くのしかかっています。千氏は、若い世代に思いを託そうとしています。

「昔は、環境問題や気候変動が一番心配でした。自然と人間の共存を訴え、走り回ったものです。しかし、今、状況はさらに悪化しています。新型コロナに始まり、ロシアとウクライナの戦争。核兵器で世界を脅かす指導者もいます。これは市民、特に若い人たちを不安にさせます。この困難な時期こそ、ロータリーが影響力を拡大し、地域社会の支持を得るチャンスです。より多くの若者がロータリーと平和の使命に参加する必要があります」

ウクライナの人々を支援するための寄付は重要ですが、道徳的・精神的な支援も同様に必要であると、千氏は考えています。「若者たちは、もっと声を大にして戦争に反対する必要があります。」「第二次世界大戦で亡くなった方々のことを忘れてはいけません。彼らの犠牲の上に今の私たちがあるのですから」

朝の霧が晴れ、障子を照らす一筋の陽光が、正午を迎えようとしていることを伝えます。湿った空気と、庭の土や植物の香りが、この場所が静寂であることをより一層引き立てています。

ロータリーと、茶人としての立場を通じて、千氏は完璧な生き方を見つけたようです。平和と相互理解を確保するためにたゆまぬ努力を続ける一方で、再び世界大戦という恐怖につながるような紛争を避けようとしています。

「裏千家の茶人であると同時に、日本のロータリーの精神的指導者でもある」千玄室氏。ご冥福をお祈りします。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

地区大会が、11月15日(土)・16日(日)にスターゲイトホテル関西エアポートで開催されます。本日受付でご記入頂きましたが、まだご都合がわからなかった方、本日お休みの方含めまして、来週も親睦活動委員の方でご都合を聞かせて頂きますのでよろしくお願い致します。

委員会報告

○本日例会終了後、みやびの間にて 委員会を開催しますので、メンバーの方ご出席よろしくお願い致します。(山本 博章 親睦活動委員長)

■ 出席報告 会員数40名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/19	28名	12名	—	70.00%
9/ 5	32名	8名	1名	82.50%

■ ビジター

なし

■ メークアップ

榎本(9/11 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・植村会員、本日卓話よろしくお願いします (杉本)
- ・植村会員、本日の卓話よろしくお願いいたします (細川)
- ・植村様、本日の卓話よろしくお願いします (川崎)
- ・前回欠席のお詫び (細川)
- ・度々欠席のおわび (高寺)
- ・例会欠席のおわび (小野寺)

ニコニコ箱合計	13,000円
累計	182,000円

先週のプログラム

「熱中症対策」と「人生は思い出作り」



植村 勢彦 会員

毎日暑い日が続きますが、最近は夏が長く秋が短く冬になります。完全に異常気象が当たり前のようになって来ております。皆さんも家庭や職場でも熱中症対策を講じていると思いますが、くれぐれも気を付けてください。私どもの会社も10年位前からは、熱中症対策について考えて、車両や現場に常備、塩飴や瞬間冷却キットや、OS-1など色々と工夫して置いております。6～7年前からは、空調ベストや保冷剤入り冷却ベスト等、全員に着用させています。今のところ重度な熱中症には罹っておりませんが、それでも

毎年2～3人程度は軽い熱中症に罹る者はおります。6月～9月までは特に現場巡察に回り、健康管理の確認をしています。ところが今年の令和7年6月1日に、厚生労働省から改正労働安全衛生規則が施行されました。

【職場における熱中症対策の強化について】です。これは企業にとっても社会的責任で、罰則が課せられます。なぜこの様な事が義務付けられるのは、近年職場での熱中症による死亡事故が年々増加しているからです。この10年間で少なくとも、1万2475人が死亡しています。

昨年の令和6年の職場での死亡者数は1,257人で、令和5年よりも151人増えています。

このうち約4割が、建設業と製造業が占めています。その中でもトップが建設業です。なぜなら外での作業が多いからです。私どもの警備業も、それに付随するところもあります。

以前は熱中症対策は自己責任で、企業はサポートするだけでしたが、これからは企業の社会的責任にお

いて、取り組まなければなりません。各社でマニュアルを作成し、実行していかなければなりません。

例えば、大手ゼネコンの現場では、1.始業直前にみんなで給水する。1時間後に休憩10分、2時間後に休憩10分とみんなで給水し、また1時間後に休憩、2時間後に昼休み休憩で1時間休む。これを午後にも繰り返します。WBGT（暑さ指数）25度以上では50分作業10分休憩を取り入れるとなっています。また熱中症対策ウォッチ・カナリアと言って、時計型で体の異変をキャッチすると、警告音とメッセージ出ます。何かと企業も工夫して対策を練っています。これではとても生産性が悪く、完成の期間が延び建築単価も上がります。人手不足もあり先々の経済動向が心配です。

事業者が対策を怠った場合は、6ヶ月以下の拘禁刑、または50万円以下の罰金が科される可能性があると言われています。

また昨年は2024年問題の「働き方改革」で、トラックドライバーの時間外労働が、960時間を上限とされました。そのために物流業界では、稼げないと言って辞めていく人も出ております。物流の停滞も危惧されます。物流業界だけでなく、我々の業界も同じですが、少子高齢化社会が深刻化している近年、職場の人手不足も深刻化しています。

以前は、新聞折り込みや媒体での求人でしたが、今は時代も変わりインターネット求人サイトを活用しています。イーアイデムやインディード等の色んなサイトを利用しているのですが、なかなか思うようには行きません。毎月の課金も馬鹿にはなりません。いつも考えるのですが、どういった所で就職活動をしているのか分析しています。我々みたいな中小零細企業の中途採用をメインとしている企業はとても苦戦しています。

例えば平成生まれの若者は、36歳から下になります。この人たちは物心がついたころから、パソコン・インターネット、スマートフォン、メール、SNSと言ったツールを身近にある人達です。若者たちはゲームソフトに課金して楽しんでいますが、1ヶ月に数万円から十数万円位使う人もいるのですが、私には理解できません。時代の変化もスピードが速くついていきません。こういった若者たちは、デジタル産業・ゲームソフト業界・IT・ソフト開発・AI・ロボット開発等の業界に就職しています。結局我々の企業も会計ソ

フト・勤怠管理・売上管理システム・求人サイト等IT企業に課金を支払いますが、値上げがあっても途中でやめられません。私どもの業界も、ビルディングの出入り管理や、コンサートやイベントなどの会場での入場管理には、AIロボットやドローンも活躍する時代になって来ていますが、私どもの現場で体を動かす職種には、なかなか応募者がいません。最近では定年退職をした従業員も、囲い込みで再雇用して人材確保することで、生産性の維持を図っています。特に現場仕事の職種には、これから先の人材確保が、頭の痛い時代になっております。毎年この夏場は応募が少ないです。職安に聞いても「暑い時期は人流が無いので」と言われます。毎年ですが、特に今年の夏は異常気象が続いています。北海道でも40℃を超える暑さです。

昔は北海道は、クーラーは要らないのが常識でしたが、今は常識が通用しません。

例えば私の青年時代は、プールや海水浴場では、黒くなる為にサンオイルを塗っていました。今は日焼け止めクリームや、ラッシュガードを着てUVカットに気を付けています。また今や小中学生のサングラス着用も認められる時代です。我々の業界も全国警備業協会から通達があり、紫外線が人体に及ぼす影響についても注目されています。紫外線から目を保護し、安全かつ効果的な警備業務が遂行できるように、サングラスの着用に関するガイドラインを送ってきました。以前は威圧感があるので御法度でしたが、健康被害にあわないように配慮しています。色の薄い黒色系、茶色系とか、視感透過率8%未満の薄いものとか制約はありますが、ユーザーに必要性を十分に説明して着用すること。これも時代の移り変わりです。

私の少年時代は、体温より気温が高いと熱射病になって死ぬで、と言われていました。

昔は熱射病、日射病とよく言われていましたが、包括的に熱中症と言われる様になったのも、2000年からです。

熱中症・熱射病・日射病は、いずれも暑い環境に長時間さらされることにより発症します。特に夏の猛暑日は、湿度も高く体からの汗の蒸発が妨げられ、体温が上昇しやすく熱中症・熱射病・日射病になりやすいので注意が必要です。特に 高齢者や持病の

ある方は、暑さで徐々に体力が低下し、室内でも熱中症になることがありますので、上手にエアコンを使って 熱中症などにならないように注意が必要です

次の話題は、「人生は思い出作り」のお話をさせていただきます。思い出はあらゆる場面であるのですが、私は若い頃から旅行が好きで、国内、海外にも色々と行って来ました。

2023年11月の卓話は、バリ島のお話をさせていただきました。この5年間はコロナの関係で、海外は一度も行けていません。時間は自分で作り、出来るだけ若い間に行く。歳がいつて時間とお金が出来ても、体が就いていかない様になると、いつも思っています。ところが昨年の秋に青年会議所が台湾との締結記念式典に同行して、気分がよくなり、今年の2月にインドのゴールデン・ルートの旅5日間と、3月のスペイン・ポルトガルの旅10日間をエントリーしていました。ビジネスクラス利用でエントリーしていましたが、席の確保が出来ない旨の連絡が入り残念しました。インドは直行便で片道10時間半はかかるので、エコノミーでは身体が持ちません。またスペイン・ポルトガルもビジネスクラスが取れず残念しました。パンフレットには、エコノミーは幾ら、ビジネスは幾らと書いてありますが、枠が少ないみたいです。昨年の12月のクリスマス家族例会の円卓で、同席の中先生や丹農さんに、久しぶりの海外旅行に、インドに行くんですと言うと、色々な情報を教えて頂いたので、勉強になりました。

ガンジス川の沐浴の見学は、衛生的に好かないので気を付けやとか、水・氷・カットフルーツも気を付けて、必ず胃腸薬は持って行きや、特にピップ止めの薬は忘れずにとか、あそこは綺麗でとか、色々情報を頂いたので、後は行くだけやと思いましたが残念でした。今回の卓話は海外旅行のお話をするつもりでしたが、次回のお楽しみにしてください。少し賢くなり、大手旅行会社も2社にエントリーし、確実に催行するツアーに申し込みます。結局インドは11月に催行され席も指定どうりで、お金も支払いました。後はビザ申請の手続きだけです。またスペイン・ポルトガルも、来年の3月に催行が決まり、予約金だけは支払いました。半年先のツアーでも予約金は払わなければなりません。大手旅行会社なので心配はないと思

ますが、少し複雑な気持ちです。その前に人間には、人にはそれぞれの価値観があります。仕事に対する価値観、家族に対する価値観、お金に対する価値観、自由や時間に対する価値観など色々あります。夫婦でも最初の頃は、価値観が違います。何故なら育った環境の違い、物事の見方も多少違います。10年15年20年と年輪を重ねて一緒に暮らしますと、子供の成長や暮らしの環境、経済的な豊かさ求めます。そうなりとお互いの価値観も似てきます。お互いが向上を目指して、一緒に頑張れる様になります。また喧嘩をすることもなく、目的に向かって励まし合い、笑顔で接する日々がやって来ると思います。今は孫の成長を、楽しみに日々過ごしています。

人それぞれですが、よく価値観の違いでも例えるのですが、旅行の仕方でもそうですが、目的地までヨットに乗って、半日かけてのんびり行くタイプ。またはクルーザーに乗って1時間で目的地に行くタイプがあります。私はクルーザーに乗って行くタイプですが、皆さんはどうですか？どちらも楽しみ方の違いはありますが、楽しいレジャー遊びです。ホテルでも露天風呂付き客室でのんびり過ごすタイプか、大浴場があり露天風呂がありサウナもあるホテルを選ぶか？私は大浴場・サウナのあるホテルを選びます。また夫婦でも、旅行の趣味が違いますと、なかなか遊び方もどちらかが、妥協しなくてはなりません。偶々うちは、お陰様で旅行の趣味が、似ているので助かります。と言うのは15年位前から家内が、一緒にゴルフをするようになりました。一緒にレッスンも受け、今日まで続いています。ゴルフを中心に旅行を計画しますと、スムーズに進みます。

以前からあったパターンですが、特にこの5年間はジャパン・ツーリズムを楽しんでいます。

1年のルーティンでは、3月は九州・5月は業界の観光旅行・6月は軽井沢・9月は北海道・11月は宮崎シーガイアに行きます。これ以外は近場の白浜か、有馬温泉に泊まって、ゴルフをして帰ります。今年の3月の九州は、久しぶりに鹿児島に行きました。

と言うのは、見た方もおられるかも知れませんが、今年の1月にWOWOWの映画で、2023年12月に上映の「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」を見て、久しぶりに涙が、ウルウルするシーンがありました。あらすじを言いますと、女子中学生が母親と口論

になり、家を飛び出して洞窟みたいな所でタイムスリップにあい、戦時中の昭和20年6月の知覧特攻隊の基地の近くで迷子になり、【特攻の母】と呼ばれている、鶴屋食堂のツルさん【富屋食堂のトメ（鳥濱）】に助けられて、女子挺身隊として、食堂の手伝いをするようになります。そこで特攻隊員と恋愛するようになります。現実を知っているのに、矛盾を感じるのですが、憲兵隊員との口論や、非国民と罵られるシーンもあり見ている私も、複雑な思いになりました。今まで見たこともない、広大な百合の花が咲く丘にも感動しました。そうしている間に特攻命令が出されました。間際に脱走する仲間もありましたが、寛大な心で目をつぶって、自分たちだけで出撃して行くのですが、別れのシーンがジーンと涙を誘います。その後タイムスリップが解け、現実の有り難味や、親の愛情に感謝するようになりました。機会があれば一度見て下さい。

そして戦後80年の節目の年でもありますので、知覧特攻平和会館に行き実在した富屋食堂のトメさんの映像を見て、特攻隊員の手紙を読み、切実な思いで会館の裏にある護国神社にお参りし、平和の鐘を鳴らして、指宿温泉白水館に向けて出発しました。指宿温泉は砂蒸し風呂が名物で、サウナとは違った汗が出ます。いつもは指宿1泊、2泊目は鹿児島市内の城山ホテルに泊まるのですが、歳もいき移動も結構遠いので、今回は2泊とも指宿温泉にしました。ちなみに城山ホテルの露天風呂から見える桜島は絶景です。一度行かれてはどうですか。

5月の観光旅行は長崎に行って来ました。昨年は「富士山を見る」でしたが、今年のメインテーマは「軍艦島上陸」でした。私は10年位前に1度上陸していますが、今回は幹事として、20名を引き連れて行きますので、天候不順な長崎です。上陸するまで冷や冷やです。「長崎は今日も雨だった」と言う歌もある位ですので、天気予報を常に見ていました。2泊3日の工程で、平和公園・グラバー園・大浦天主堂・島原城や武家屋敷散策など、初日はグラバー園のふもとのホテルで泊まり、翌日に朝から歩いて1

0分位の所に、船着き場があります。シーマン号に乗って出航しますが、前日は天候不順で欠航しています。当日の天気は、曇りのち晴れですが、波も少しあります。軍艦島に近づきますが、市役所からの上陸許可が下りるまでは、10分~15分位、待機しています。少し波もあるので心配はしましたが、許可が下りて何とか無事に上陸出来てホッとしました。軍艦島（端島炭坑）は長崎港から18kmで、約40分のところの位置にあります。南北に480m 東西に160m 周囲1,200mの人工の島ですが、岸壁が島全体を囲い、高層鉄筋コンクリートが立ち並ぶその外観が、軍艦【土佐】に似ていることから「軍艦島」と呼ばれるようになりました。最盛期の1960年（昭和35年）には、約5300人もの方が住み、当時、日本一の人口密度を誇っていました。小中学校・病院・映画館・パチンコ屋・デパートもあり、島内は大変な賑わいでした。

端島炭坑は良質な石炭が取れ、とても貢献しましたが、主要エネルギーが石炭から石油に移行することになり、1974年に閉山しました。その後の2015年7月に【世界文化遺産】として正式登録されました。「明治日本の産業革命遺産～製鉄・製鋼・造船・石炭産業」

軍艦島は世界文化遺産地区であって、本当の世界文化遺産は、島内の建築物で、明治時代に造られた、レンガ造りの壁や、外壁の2ヶ所だけが、「世界文化遺産」なのです。島内は昭和に入って、高層鉄筋コンクリートが立ち並び、近代化されています。私も2回上陸していますが、今回はガイドさんの説明を、ちゃんと聞いて勉強になりました。2泊目は久しぶりに雲仙温泉に泊まり、のんびりしてきました。無事にミッションも成功したので、気分良く帰路に着きました。

今回の卓話は海外編をお話させていただきます。

今回も写真やパワーポイントの作成には、西端会員にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか